

# 野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース

## 運用報告書(全体版)

第15期（決算日2024年11月14日）

作成対象期間（2024年5月15日～2024年11月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年2月23日以降、無期限とします。	
運用方針	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主な投資対象	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

### 野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

**0120-753104**（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Aコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
11期(2022年11月14日)	11,521		50	△ 4.0	94.4	—	59,063
12期(2023年5月15日)	11,660		100	2.1	98.0	—	52,875
13期(2023年11月14日)	13,309		200	15.9	99.0	—	58,078
14期(2024年5月14日)	15,858		350	21.8	98.9	—	64,392
15期(2024年11月14日)	17,037		400	10.0	98.0	—	64,280

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期首) 2024年5月14日	円		%	%	%
5月末	15,858	—	—	98.9	—
6月末	15,854	△ 0.0	—	97.8	—
7月末	16,588	4.6	—	98.4	—
8月末	15,580	△ 1.8	—	94.7	—
9月末	16,289	2.7	—	97.3	—
10月末	16,443	3.7	—	97.9	—
10月末	16,703	5.3	—	98.5	—
(期末) 2024年11月14日	円		%	%	%
	17,437	10.0	—	98.0	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ＜Bコース＞

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税分	込配 金	期騰 落			
	円		円		%	%	百万円
11期(2022年11月14日)	15,127		300		5.0	96.9	74,742
12期(2023年5月15日)	15,227		300		2.6	97.9	71,736
13期(2023年11月14日)	19,556		600		32.4	98.9	92,310
14期(2024年5月14日)	24,515		800		29.4	98.9	119,893
15期(2024年11月14日)	26,534		900		11.9	98.0	129,641

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価額	騰 落	率	株組 入比率	株式 先物比率
(期首) 2024年5月14日	24,515		—	98.9	—
5月末	24,636		0.5	97.8	—
6月末	26,578		8.4	98.4	—
7月末	23,795		△ 2.9	97.3	—
8月末	23,755		△ 3.1	97.3	—
9月末	23,750		△ 3.1	97.9	—
10月末	25,939		5.8	98.5	—
(期末) 2024年11月14日	27,434		11.9	98.0	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

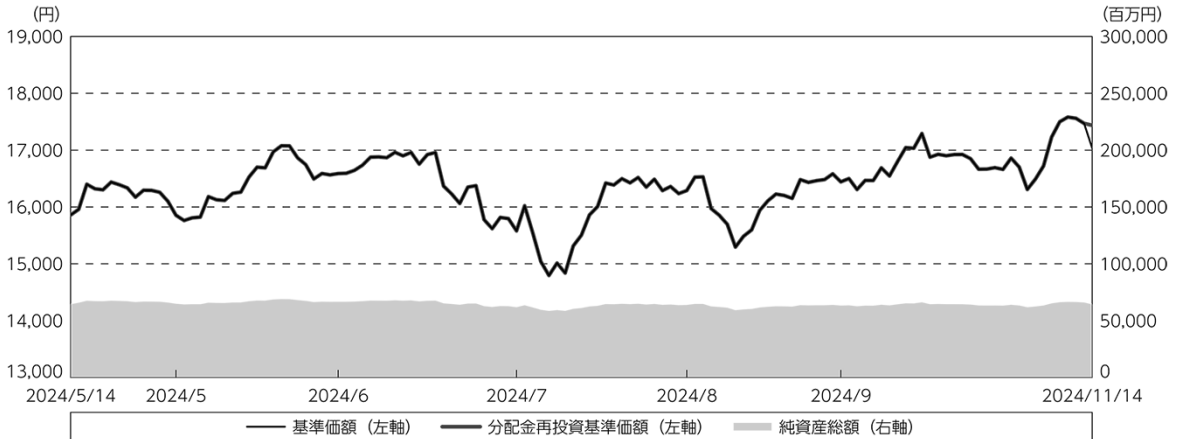
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## <Aコース>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



期首：15,858円

期末：17,037円 (既払分配金(税込み)：400円)

騰落率：10.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年5月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 4月の米CPI(消費者物価指数)上昇率が前年同月比+3.4%(3月同+3.5%)と鈍化し、早期の利下げへの期待が高まったこと、企業向けにネットワーク機器などを提供する米IT企業のAI向けサーバー事業の2-4月期売上高が急増したことが好感されたこと
- (下落) 米国が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたこと、8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気悪化懸念が強まったこと
- (上昇) FOMC(米連邦公開市場委員会)において政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRB(米連邦準備制度理事会)が労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したこと、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたこと

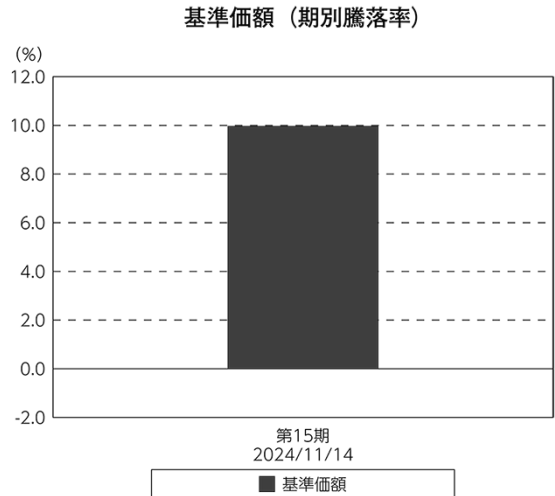
## <Aコース>

### ◎当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、事業者向けの決済サービスのシェア拡大や、周辺サービスの一括提供による顧客一人当たり売り上げの伸びによる業績成長が継続したシフト4・ペイメンツ（米国の金融サービス株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。一方、中国のメモリーメーカーの生産能力強化による供給過剰から業績成長の減速が懸念されたマイクロン・テクノロジー（米国の半導体・半導体製造装置株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり400円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

### ◎分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

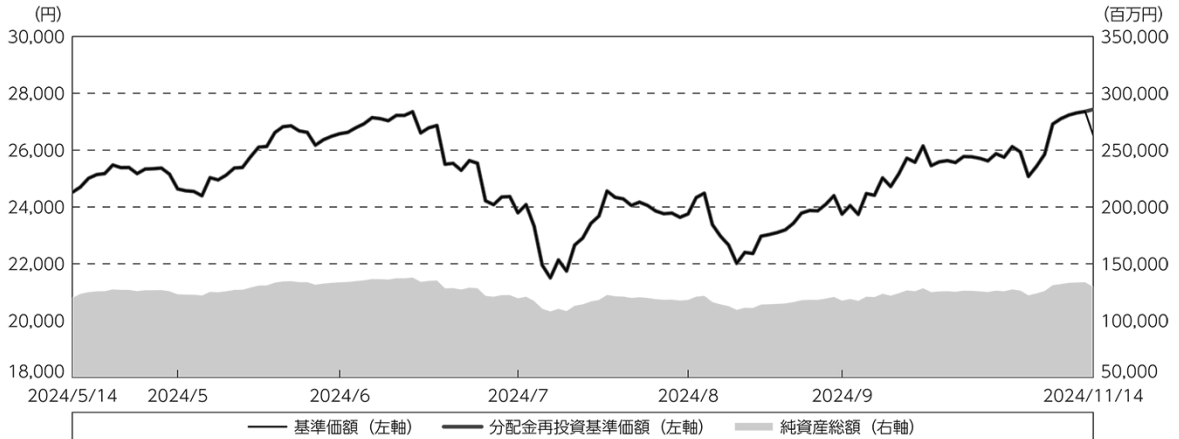
項目	第15期
	2024年5月15日～ 2024年11月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	400 2.294%
当期の収益	45
当期の収益以外	354
翌期繰越分配対象額	7,148

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年5月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 4月の米CPI(消費者物価指数)上昇率が前年同月比+3.4%(3月同+3.5%)と鈍化し、早期の利下げへの期待が高まったこと、企業向けにネットワーク機器などを提供する米IT企業のAI向けサーバー事業の2-4月期売上高が急増したことが好感されたこと、為替市場で円が下落(円安)したこと
- (下落) 米国が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたこと、8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気悪化懸念が強まったこと、為替市場で円が上昇(円高)したこと
- (上昇) FOMC(米連邦公開市場委員会)において政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRB(米連邦準備制度理事会)が労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したこと、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたこと、為替市場で円が下落したこと

## <Bコース>

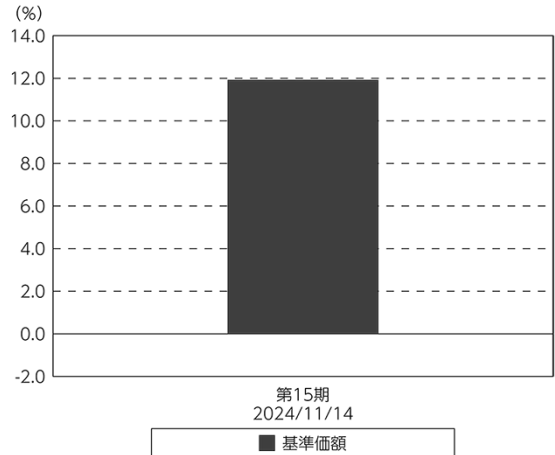
### ◎当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、事業者向けの決済サービスのシェア拡大や、周辺サービスの一括提供による顧客一人当たり売り上げの伸びによる業績成長が継続したシフト4・ペイメンツ（米国の金融サービス株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。一方、中国のメモリーメーカーの生産能力強化による供給過剰から業績成長の減速が懸念されたマイクロン・テクノロジー（米国の半導体・半導体製造装置株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり900円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ◎分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第15期
	2024年5月15日～ 2024年11月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	900 3.281%
当期の収益	900
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,533

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース/Bコース>

### ○投資環境

世界の株式市場は、期初、4月の米CPI上昇率が前年同月比+3.4%（3月同+3.5%）と鈍化し、早期の利下げへの期待が高まったことや、企業向けにネットワーク機器などを提供する米IT企業のAI向けサーバー事業の2-4月期売上高が急増したことが好感され、上昇しました。7月に入ると、中国の4-6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回ったことや、米国が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたことなどから下落しました。8月上旬には米雇用統計において7月の失業率が4.3%と約3年ぶりの高水準となったことから景気悪化懸念が強まり、下落しました。その後、7月の米小売売上高が市場予想を上回ったことで景気悪化懸念が和らいだことなどから上昇したものの、9月上旬には8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気減速懸念が強まり、下落しました。その後は、FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したことから上昇し、期末にかけては、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたことなどが好感され上昇し、当期において世界の株式市場は上昇しました。

為替市場では、期初、米経済の力強さから日米金利差の大きい状態が続くとの見方が強まり、米ドル高・円安が進行しました。その後、景気悪化懸念による米利下げ期待などから日米金利差が縮小するとの見方が強まり、米ドル安・円高が進行しました。期末にかけては米国景気の底堅さなどから日米金利差が拡大するとの見方が再び強まり、米ドル高・円安が進行しましたが、期を通じて米ドル安・円高となりました。



## ＜Aコース／Bコース＞

### ○当ファンドのポートフォリオ

#### [野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

##### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

##### ・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用拡大により中長期で成長が期待される情報技術セクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、自然災害やサイバー攻撃など様々なリスクに対応した多様な保険仲介サービスへの需要が高まることで中長期の業績成長が期待できると判断したアーサー・J・ギャラガー（米国の保険株）や、最先端半導体技術の微細化に伴う製造工程の高度化を背景に、半導体検査装置に対する需要の高まりが期待できると判断したKLA（米国の半導体・半導体製造装置株）などを買付けしました。一方、企業内のITや、人事、法務、顧客管理などの業務ワークフローをデジタル化により効率化するプラットフォームを提供するサービスナウ（米国のソフトウェア株）や、無線通信技術を核とした消費電力を抑えた高性能な半導体に強みを持つクアルコム（米国の半導体・半導体製造装置株）などについては中長期の成長期待が一定程度株価に織り込まれたと判断して売却を行ないました。

#### [野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

##### ・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図りました。

#### [野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

##### ・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

## ◎今後の運用方針

### [野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

#### ・投資環境

米国経済は、内需に支えられ堅調に推移しています。7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.8%となり4-6月期に続き高水準でした。また、10月のCPI上昇率は前年同月比+2.6%と落ち着いており、食品・エネルギーを除くコアインフレ率は同+3.3%にとどまりました。9月のFOMCでは、政策金利は0.5%の大幅利下げが決定され、11月も0.25%の利下げが決定されました。今後の金融政策や地政学的リスクの高まり、トランプ次期米政権の下で実施される経済政策、外交政策などに注視が必要です。

#### ・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

株式市場では、短期的にはマクロ経済環境や次期米政権で実施される政策等に注視する必要があります。一方、中長期的な視点では、多くの企業がAI技術導入に言及するなど、幅広い業種でAI技術の活用による生産性向上が期待されます。AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がより強くなるという傾向がみられます。加えて、AIを活用したビジネス領域はますます拡大しており、情報技術だけでなく幅広い対象セクターから成長銘柄へ投資を行なってまいります。

### [野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

### [野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月 15 日～2024年 11 月 14 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 140	% 0.860	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 68 )	( 0.416 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 68 )	( 0.416 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	( 0.028 )	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.028	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 5 )	( 0.028 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 0 )	( 0.001 )	
(d) そ の 他 費 用	1	0.004	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	146	0.893	
期中の平均基準価額は、16,242円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

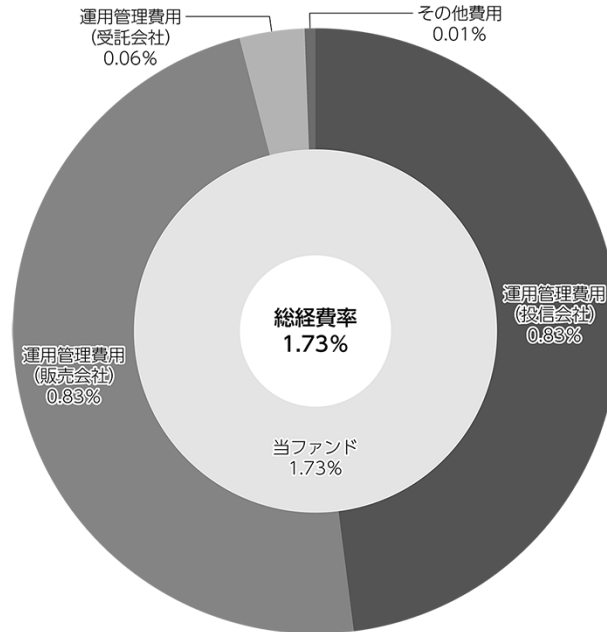
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Aコース>

(参考情報)

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2024年5月15日～2024年11月14日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	14,773,365	55,332,165	16,798,835	63,696,923

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2024年5月15日～2024年11月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	155,261,759千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	182,766,334千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.84	

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年5月15日～2024年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月14日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	17,448,560	15,423,090	64,140,007

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ＜Aコース＞

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	64,140,007	95.0
コール・ローン等、その他	3,366,281	5.0
投資信託財産総額	67,506,288	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（185,587,752千円）の投資信託財産総額（193,522,148千円）に対する比率は95.9%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.77円、1デンマーククローネ=22.06円、1ユーロ=164.54円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	126,669,409,089
コール・ローン等	3,347,133,030
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	64,140,007,065
未収入金	59,182,247,234
未収利息	21,760
(B) 負債	62,388,895,729
未払金	60,194,185,108
未払収益分配金	1,509,170,715
未払解約金	131,759,704
未払信託報酬	552,710,500
その他未払費用	1,069,702
(C) 純資産総額(A-B)	64,280,513,360
元本	37,729,267,899
次期繰越損益金	26,551,245,461
(D) 受益権総口数	37,729,267,899口
1万円当たり基準価額(C/D)	17,037円

(注) 期首元本額は40,605,987,974円、期中追加設定元本額は797,868,816円、期中一部解約元本額は3,674,588,891円、1口当たり純資産額は1.7037円です。

## ○損益の状況

(2024年5月15日～2024年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	850,460
受取利息	850,460
(B) 有価証券売買損益	6,492,730,630
売買益	15,422,855,083
売買損	△ 8,930,124,453
(C) 信託報酬等	△ 553,928,017
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,939,653,073
(E) 前期繰越損益金	15,081,528,481
(F) 追加信託差損益金	7,039,234,622
(配当等相当額)	( 7,146,402,041)
(売買損益相当額)	(△ 107,167,419)
(G) 計(D+E+F)	28,060,416,176
(H) 収益分配金	△ 1,509,170,715
次期繰越損益金(G+H)	26,551,245,461
追加信託差損益金	7,039,234,622
(配当等相当額)	( 7,147,009,160)
(売買損益相当額)	(△ 107,774,538)
分配準備積立金	19,824,359,168
繰越損益金	△ 312,348,329

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2024年5月15日～2024年11月14日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年5月15日～ 2024年11月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	173,288,196円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,147,009,160円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	21,160,241,687円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	28,480,539,043円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	7,548円
g. 分配金	1,509,170,715円
h. 分配金(1万円当たり)	400円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	400円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2024年7月4日>

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月 15 日～2024年 11 月 14 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	213	0.860	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(103)	(0.416)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(103)	(0.416)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 7 )	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.028	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 7 )	(0.028)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 0 )	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.003	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	221	0.892	
期中の平均基準価額は、24,742円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

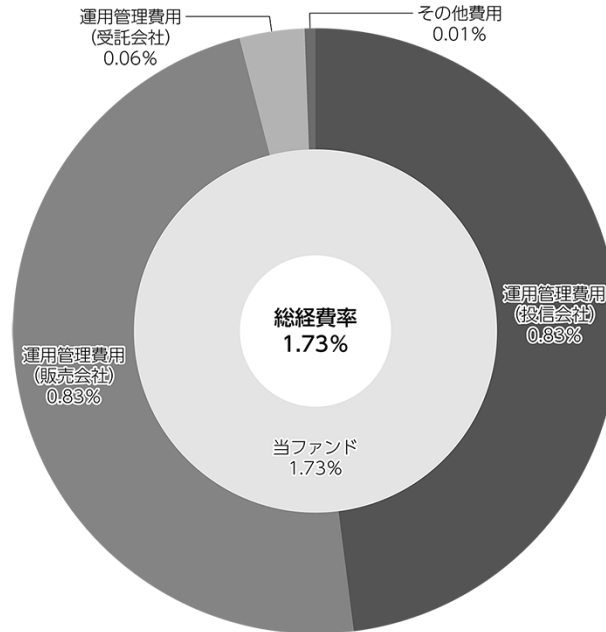


## <Bコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2024年5月15日～2024年11月14日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	1,278,952	4,844,622	2,664,532	10,260,577

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2024年5月15日～2024年11月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	155,261,759千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	182,766,334千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.84	

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年5月15日～2024年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月14日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	32,496,765	31,111,184	129,382,084

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ＜Bコース＞

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	129,382,084	95.6
コール・ローン等、その他	6,006,185	4.4
投資信託財産総額	135,388,269	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（185,587,752千円）の投資信託財産総額（193,522,148千円）に対する比率は95.9%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.77円、1デンマーククローネ=22.06円、1ユーロ=164.54円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	135,388,269,406
コール・ローン等	6,006,145,850
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	129,382,084,510
未収利息	39,046
(B) 負債	5,746,866,925
未払収益分配金	4,397,274,149
未払解約金	283,373,447
未払信託報酬	1,064,159,725
その他未払費用	2,059,604
(C) 純資産総額(A-B)	129,641,402,481
元本	48,858,601,657
次期繰越損益金	80,782,800,824
(D) 受益権総口数	48,858,601,657口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,534円

(注) 期首元本額は48,906,779,219円、期中追加設定元本額は3,281,456,562円、期中一部解約元本額は3,329,634,124円、1口当たり純資産額は2.6534円です。

## ○損益の状況

(2024年5月15日～2024年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	995,130
受取利息	995,130
(B) 有価証券売買損益	15,083,743,195
売買益	15,594,753,594
売買損	△ 511,010,399
(C) 信託報酬等	△ 1,066,219,329
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,018,518,996
(E) 前期繰越損益金	51,144,471,305
(F) 追加信託差損益金	20,017,084,672
(配当等相当額)	( 17,653,445,414)
(売買損益相当額)	( 2,363,639,258)
(G) 計(D+E+F)	85,180,074,973
(H) 収益分配金	△ 4,397,274,149
次期繰越損益金(G+H)	80,782,800,824
追加信託差損益金	20,017,084,672
(配当等相当額)	( 17,656,743,992)
(売買損益相当額)	( 2,360,340,680)
分配準備積立金	60,765,716,152

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2024年5月15日～2024年11月14日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年5月15日～ 2024年11月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	343,389,283円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	13,675,129,713円
c. 信託約款に定める収益調整金	20,017,084,672円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	51,144,471,305円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	85,180,074,973円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	17,433円
g. 分配金	4,397,274,149円
h. 分配金(1万円当たり)	900円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	900円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2024年7月4日>

# 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド

## 運用報告書

第8期（決算日2024年11月14日）

作成対象期間（2023年11月15日～2024年11月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
4期(2020年11月16日)	円 18,345		% 21.9	% 98.2	% —	百万円 200,809
5期(2021年11月15日)	26,276		43.2	97.5	—	213,866
6期(2022年11月14日)	20,363		△22.5	97.1	—	132,011
7期(2023年11月14日)	28,172		38.3	99.1	—	150,096
8期(2024年11月14日)	41,587		47.6	98.2	—	193,522

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

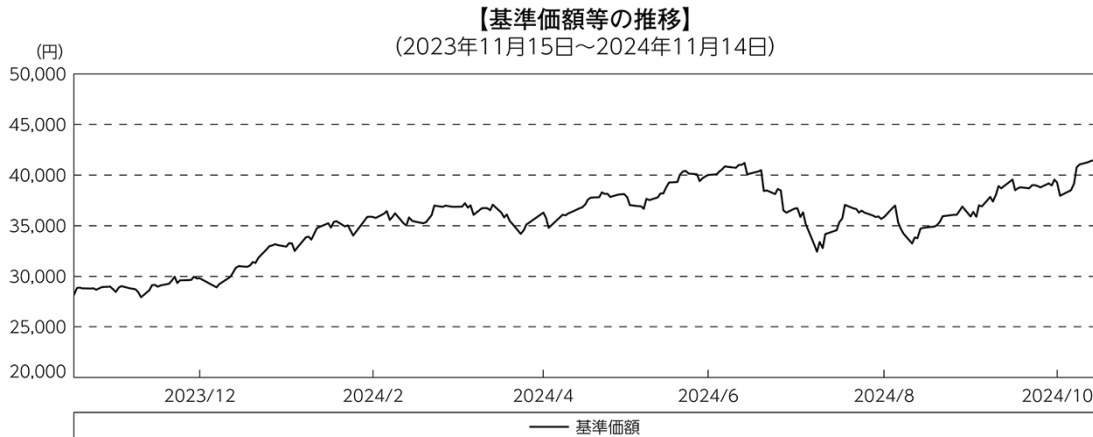
年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落率		
(期首) 2023年11月14日	円 28,172		% —	% 99.1	% —
11月末	28,882		2.5	97.8	—
12月末	29,803		5.8	96.8	—
2024年1月末	33,243		18.0	97.9	—
2月末	35,865		27.3	97.7	—
3月末	36,875		30.9	97.9	—
4月末	36,286		28.8	98.9	—
5月末	37,039		31.5	98.0	—
6月末	40,017		42.0	98.6	—
7月末	35,873		27.3	97.5	—
8月末	35,866		27.3	97.5	—
9月末	35,910		27.5	98.1	—
10月末	39,283		39.4	98.7	—
(期末) 2024年11月14日	41,587		47.6	98.2	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首28,172円から期末41,587円となりました。

- (上昇) FRB (米連邦準備制度理事会) がインフレ状況を判断する上で重視するPCE (個人消費支出) コア価格指数が、2023年12月のデータにおいて前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと、複数の米IT企業が10-12月期決算で市場予想を上回ったこと、米半導体メーカーの2024年2-4月期業績見通しがAI向け需要の強さから市場予想を大きく上回ったこと
- (下落) FOMC (米連邦公開市場委員会) メンバーであるリッチモンド連銀のバーキン総裁がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより早期の利下げ期待が後退したこと
- (上昇) 4月の米雇用統計において雇用者数や平均時給の伸び率が市場予想を下回り、早期の利下げへの期待が高まったこと、企業向けにネットワーク機器などを提供する米IT企業のAI向けサーバー事業の2-4月期売上高が急増したことが好感されたこと、為替市場で円が下落 (円安) したこと
- (下落) 米国が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたこと、8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気悪化懸念が強まったこと、為替市場で円が上昇 (円高) したこと

(上昇) FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したこと、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたこと、為替市場で円が下落したこと

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用拡大により中長期で成長が期待される情報技術セクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、従来の半導体メーカー以外の顧客層の拡大により中長期的な成長に期待できると判断したケイデンス・デザイン・システムズ（米国のソフトウェア株）や、自然災害やサイバー攻撃など様々なリスクに対応した多様な保険仲介サービスへの需要が高まることで中長期の業績成長が期待できると判断したアーサー・J・ギャラガー（米国の保険株）などを買付けしました。一方、AI関連サービスの開発に必要となるデータセンター向けの高性能半導体に強みを持つエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）や、情報漏洩やコンピュータウイルスなど様々な情報セキュリティの脅威からPCなどの端末を保護するセキュリティソフトウェアを提供するクラウドストライク・ホールディングス（米国のソフトウェア株）などについては中長期の成長期待が一定程度株価に織り込まれたと判断して売却を行ないました。

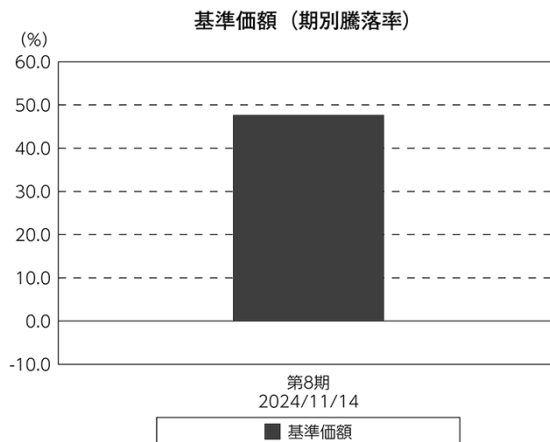


## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、AIの普及から大量のデータ処理を行なうことのできる高性能GPU（画像処理半導体）の需要が高まるとの期待によりエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。一方、半導体製造部門において巨額の赤字が継続する見通しを発表したインテル（米国の半導体・半導体製造装置株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

米国経済は、内需に支えられ堅調に推移しています。7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前期比年率+2.8%となり4-6月期に続き高水準でした。また、10月のCPI（消費者物価指数）上昇率は前年同月比+2.6%と落ち着いており、食品・エネルギーを除くコアインフレ率は同+3.3%にとどまりました。9月のFOMCでは、政策金利は0.5%の大幅利下げが決定され、11月も0.25%の利下げが決定されました。今後の金融政策や地政学的リスクの高まり、トランプ次期米政権の下で実施される経済政策、外交政策などに注視が必要です。

### ・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

株式市場では、短期的にはマクロ経済環境や次期米政権で実施される政策等に注視する必要があります。一方、中長期的な視点では、多くの企業がAI技術導入に言及するなど、幅広い業種でAI技術の活用による生産性向上が期待されます。AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がより強くなるという傾向がみられます。加えて、AIを活用したビジネス領域はますます拡大しており、情報技術だけでなく幅広い対象セクターから成長銘柄へ投資を行なってまいります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年11月15日～2024年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 17 (17)	% 0.047 (0.047)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 ( 1 )	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 1 ) ( 0 )	0.003 (0.003) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	19	0.052	
期中の平均基準価額は、35,411円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月15日～2024年11月14日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 747	千円 4,833,825	千株 248	千円 2,413,888
外 国	アメリカ	百株 47,532 ( 9,234)	千米ドル 765,018 ( - )	百株 70,174	千米ドル 987,454
	イギリス	-	千英ポンド -	763	千英ポンド 7,534
国 内	デンマーク	1,577	千デンマーククローネ 148,074	-	千デンマーククローネ -
	ユーロ オランダ	372	千ユーロ 25,666	87	千ユーロ 5,521

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2023年11月15日～2024年11月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	284,873,956千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	177,729,669千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.60

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月15日～2024年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月14日現在)

## 国内株式

銘 柄	期首(前期末) 当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額
機械 (一%)	千株	千株	千円
ダイキン工業	56.8	—	—
保険業 (64.3%)	—	643.4	3,747,161
東京海上ホールディングス	—	643.4	3,747,161
サービス業 (35.7%)	295.5	207.4	2,081,259
リクルートホールディングス	295.5	207.4	2,081,259
合 計	株 数 ・ 金 額	株 数	評 価 額
	352	850	5,828,420
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	< 3.0% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AKAMAI TECHNOLOGIES	1,781	—	—	—	情報技術サービス
AMAZON.COM INC	1,429	1,160	24,835	3,868,641	大規模小売り
APPLIED MATERIALS	—	1,185	21,660	3,374,073	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	1,806	2,283	90,215	14,052,794	通信機器
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	682	—	—	—	ソフトウェア
AXON ENTERPRISE INC	—	401	24,111	3,755,884	航空宇宙・防衛
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	952	—	—	—	バイオテクノロジー
BROADCOM INC	297	4,972	86,303	13,443,570	半導体・半導体製造装置
CDW CORPORATION	1,835	1,399	26,022	4,053,571	電子装置・機器・部品
CME GROUP INC	478	478	10,905	1,698,686	資本市場
CADENCE DESIGN SYS INC	—	1,687	51,701	8,053,540	ソフトウェア
COPART INC	8,260	9,039	52,362	8,156,573	商業サービス・用品
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	2,346	—	—	—	ソフトウェア
ARTHUR J GALLAGHER & CO	—	1,495	44,598	6,947,161	保険
IDEXX LABORATORIES INC	303	239	10,272	1,600,178	ヘルスケア機器・用品
INTEL CORP	5,571	—	—	—	半導体・半導体製造装置
INTUITIVE SURGICAL INC	504	349	18,730	2,917,647	ヘルスケア機器・用品
JUNIPER NETWORKS INC	6,720	—	—	—	通信機器
KLA CORP	—	377	24,299	3,785,138	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH	171	—	—	—	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP	—	1,310	9,674	1,506,973	半導体・半導体製造装置
MSCI INC	763	727	44,385	6,913,934	資本市場
MARSH & MCLENNAN COS	—	586	13,227	2,060,490	保険
MARVELL TECHNOLOGY INC	4,200	4,361	39,279	6,118,571	半導体・半導体製造装置
MASTERCARD INC	353	261	13,621	2,121,753	金融サービス
MCKESSON CORP	—	732	45,720	7,121,916	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
MICROSOFT CORP	834	831	35,334	5,503,995	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	5,079	1,075	10,741	1,673,187	半導体・半導体製造装置
MOTOROLA SOLUTIONS INC	—	925	45,944	7,156,813	通信機器
NVIDIA CORP	1,592	3,888	56,869	8,858,605	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	4,709	654	12,401	1,931,828	ソフトウェア
PAYPAL HOLDINGS INC	4,077	—	—	—	金融サービス
PROCORE TECHNOLOGIES INC	760	1,713	12,576	1,959,095	ソフトウェア
PROGRESSIVE CO	2,087	2,664	69,628	10,846,104	保険
QUALCOMM INC	3,547	1,478	23,710	3,693,318	半導体・半導体製造装置
SERVICENOW INC	622	—	—	—	ソフトウェア
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	6,582	6,491	65,799	10,249,551	金融サービス
SNOWFLAKE INC-CLASS A	1,276	—	—	—	情報技術サービス
SUPER MICRO COMPUTER INC	567	—	—	—	コンピュータ・周辺機器
TESLA INC	185	—	—	—	自動車
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	1,224	3,218	40,949	6,378,633	メディア
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	99	99	5,364	835,676	ライフサイエンス・ツール/サービス
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	—	1,904	24,251	3,777,616	資本市場
UBER TECHNOLOGIES INC	—	3,403	24,215	3,772,087	陸上運輸
UNITEDHEALTH GROUP INC	214	704	42,653	6,644,096	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	539	—	—	—	ヘルスケア・テクノロジー
VERTEX PHARMACEUTICALS	124	—	—	—	バイオテクノロジー
WORKDAY INC-CLASS A	1,361	—	—	—	ソフトウェア
ZOETIS INC	508	—	—	—	医薬品

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
(アメリカ) ZSCALER INC	百株 1,988	百株 929	千米ドル 19,495	千円 3,036,746	ソフトウェア
小計	株数・金額 76,425	株数 63,017	1,141,865	177,868,460	
	銘柄数<比率>	39	34	—	<91.9%>
(イギリス) ASTRAZENECA PLC	763	—	千英ポンド —	—	医薬品
小計	株数・金額 763	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	—	1,577	千デンマーククローネ 119,221	2,630,019	医薬品
小計	株数・金額 —	1,577	119,221	2,630,019	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.4%>
(ユーロ・オランダ) ASML HOLDING NV	77	362	千ユーロ 22,722	3,738,799	半導体・半導体製造装置
ユーロ計	株数・金額 77	362	22,722	3,738,799	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.9%>
合計	株数・金額 77,265	64,956	—	184,237,279	
	銘柄数<比率>	41	36	—	<95.2%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月14日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 190,065,700	% 98.2
コール・ローン等、その他	3,456,448	1.8
投資信託財産総額	193,522,148	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建純資産（185,587,752千円）の投資信託財産総額（193,522,148千円）に対する比率は95.9%です。

\* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=155.77円、1デンマーククローネ=22.06円、1ユーロ=164.54円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	193,522,148,297
コール・ローン等	3,387,840,349
株式(評価額)	190,065,700,032
未收配当金	68,594,628
未收利息	13,288
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	193,522,148,297
元本	46,534,275,513
次期繰越損益金	146,987,872,784
(D) 受益権総口数	46,534,275,513口
1万口当たり基準価額(C/D)	41,587円

(注) 期首元本額は53,278,247,949円、期中追加設定元本額は33,436,385,976円、期中一部解約元本額は40,180,358,412円、1口当たり純資産額は4,1587円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース 31,111,184,868円  
 ・野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース 15,423,090,645円

## ○損益の状況 (2023年11月15日～2024年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,082,330,988
受取配当金	992,399,247
受取利息	48,767,994
その他収益金	41,326,224
支払利息	△ 162,477
(B) 有価証券売買損益	67,741,581,062
売買益	77,682,146,093
売買損	△ 9,940,565,031
(C) 保管費用等	△ 5,773,222
(D) 当期損益金(A+B+C)	68,818,138,828
(E) 前期繰越損益金	96,818,155,774
(F) 追加信託差損益金	84,623,523,411
(G) 解約差損益金	△103,271,945,229
(H) 計(D+E+F+G)	146,987,872,784
次期繰越損益金(H)	146,987,872,784

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2024年7月4日>